

【テックジム】GAS コースへようこそ(テキストの使い方)

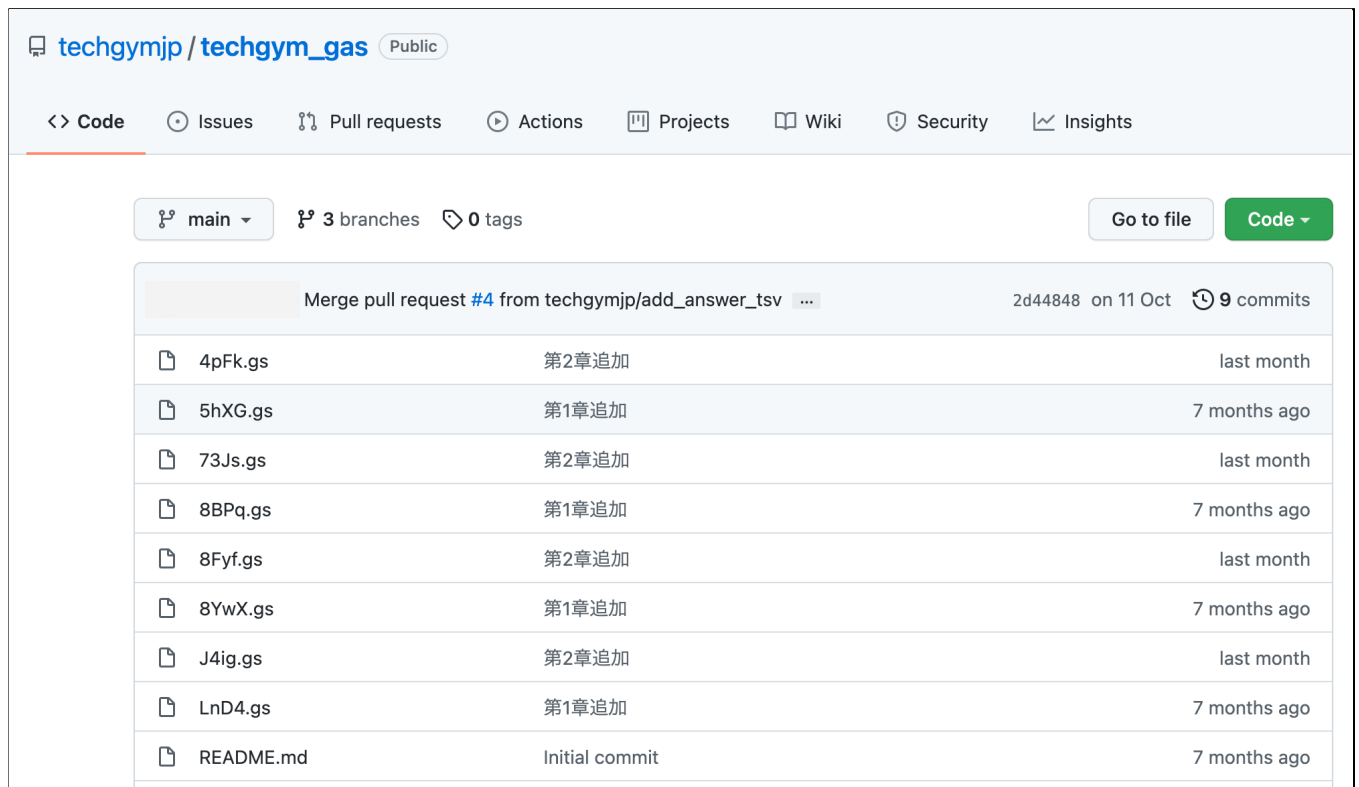
テックジムの各課題(小問題)には、以下のようなサンプルソースが用意されています。

■1-1:メールを送信しよう:LnD4.gs

まずは、サンプルソースをスクリプトエディタに貼り付け、そこでコーディング及び実行をして、意図通りにプログラムが動いているかを確認するという流れで学習していただきます。

【サンプルソースの公開場所】https://github.com/techgymjp/techgym_gas

※ローカル環境の画面検索(Windowsの場合「Ctrl + f」、Macの場合「Command + f」)でサンプルソースを探してみてください。



techgymjp / techgym_gas Public

<> Code Issues Pull requests Actions Projects Wiki Security Insights

main 3 branches 0 tags Go to file Code

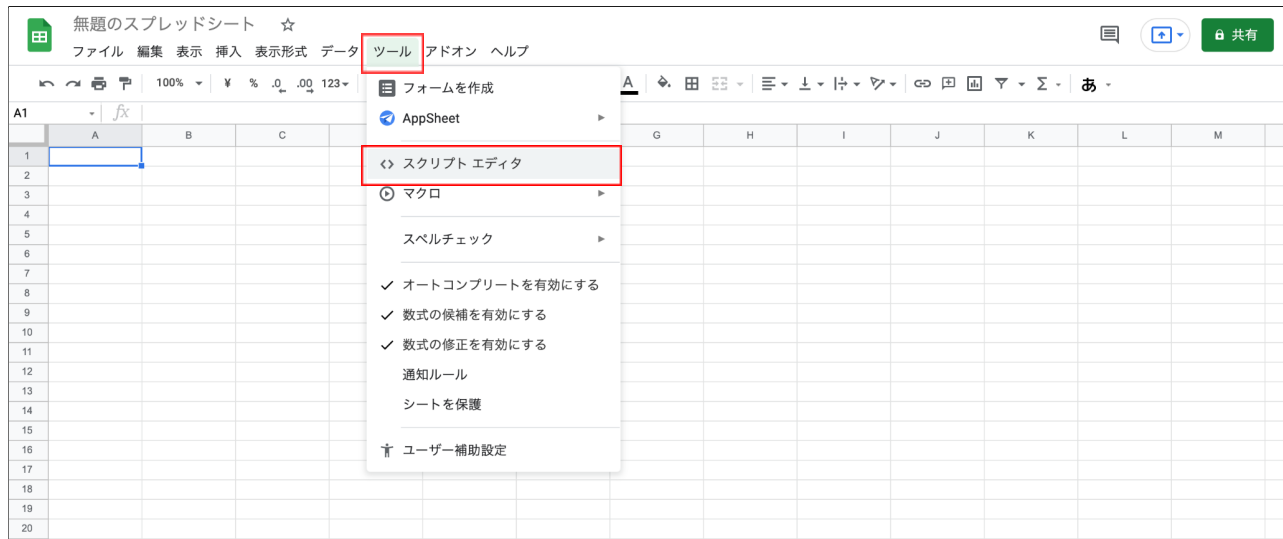
Merge pull request #4 from techgymjp/add_answer_tsv 2d44848 on 11 Oct 9 commits

| | | |
|-----------|----------------|--------------|
| 4pFk.gs | 第2章追加 | last month |
| 5hXG.gs | 第1章追加 | 7 months ago |
| 73Js.gs | 第2章追加 | last month |
| 8BPq.gs | 第1章追加 | 7 months ago |
| 8Fyf.gs | 第2章追加 | last month |
| 8YwX.gs | 第1章追加 | 7 months ago |
| J4ig.gs | 第2章追加 | last month |
| LnD4.gs | 第1章追加 | 7 months ago |
| README.md | Initial commit | 7 months ago |

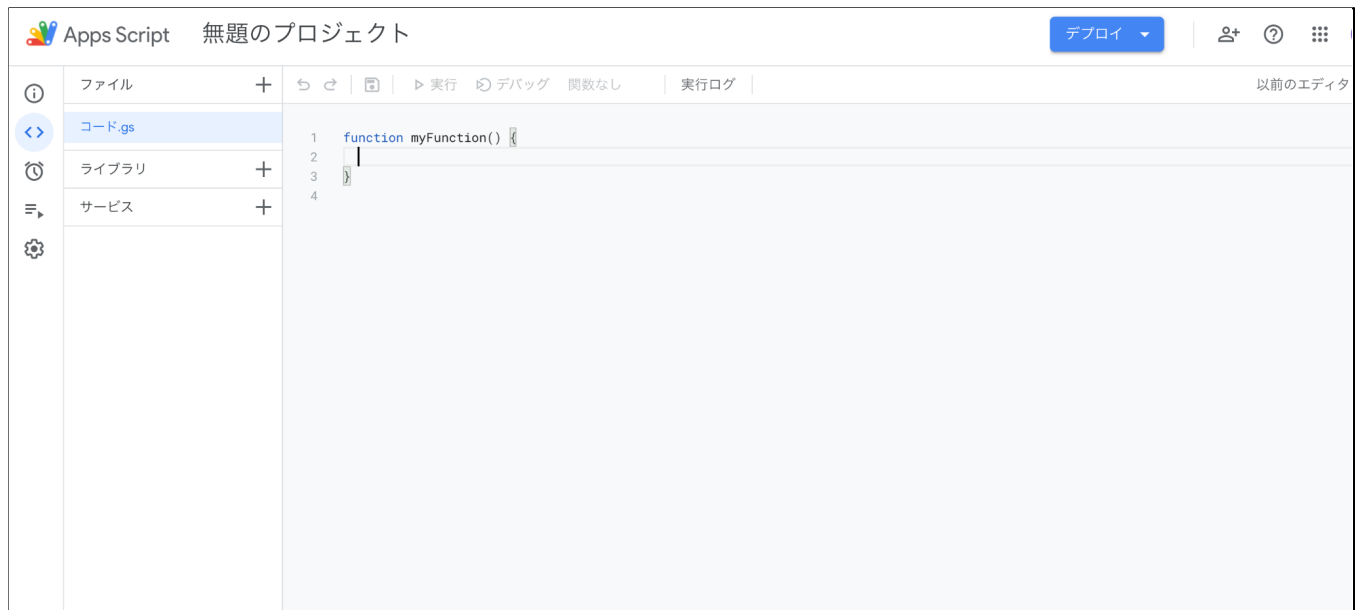
【スクリプトエディタの開き方】

スプレッドシートやドキュメントなどを新規で作成し、そのファイルの「ツール」タブから「スクリプトエディタ」を開きます。GAS コースのテキストではこちらの開き方で学習を進めていきます。

※Googleアカウントをお持ちでない方は、アカウントの作成から始めてください。



デフォルトでは「myFunction」という名前の関数が記載されていますが、中身は空です。
波括弧内{}にコードを記載し、実行をすると記載したコードの内容に沿った処理をしてくれます。



【スクリプトエディタの使用手順】

1.コードを記載し、保存します。

例として、ログを表示するスクリプトであるconsole.logに「Hello, GAS」と記載しています。

「コード.gs」の左横に表示されたオレンジ色のマークは未保存を示すマークです。

GASでは、コードは自動保存されないなので、都度保存をする必要があります。

「保存」のショートカットキー:Windowsの場合「Ctrl + s」、Macの場合「Command + s」

```
console.log("Hello, GAS");
```



2.処理を実行します。

処理が実行されると、以下のように「実行ログ」が画面下部に表示されます。

今回の例では、ログを表示するスクリプトを記載しているので、実行ログ内に「Hello, GAS」が表示されます。

「実行」のショートカットキー:Windowsの場合「Ctrl + r」、Macの場合「Command + r」



【課題の進め方】

必ず自分なりに何かしらコーディングして実行するというトライ&エラーをしてみてください。
そのためにヒントがあります。また、自分でネットで調べる力も大事なスキル習得です。
最初のうちは自力で解けないことばかりなので、ある程度頑張ってみたら、答えを先に見るのも手です。
ポイントは手が動かなくなったタイミングで、ググるか、トレーナーに質問してみてください。

また、プログラミング言語には公式リファレンスという、その公式組織が出している言語の説明書があります。
GASの公式リファレンスは英語で書かれていますが、どこよりも詳しくかつ正確な情報が細かく載っているのが特徴です。ネットの記事だけでは分からない、もう少し詳しく知りたい場合には、公式リファレンスも参考にしてみてください。
GASの公式リファレンス <https://developers.google.com/apps-script/reference>
参考: 公式リファレンスの検索ワード「gas app script reference」

【効率的に進めるにあたって】

問題の意図にないような余計なコーディングはしないことです。それにより躓くことは時間の浪費につながります。また、
解答通りにコーディングをしなくてはならない訳ではありません。要求仕様を満たせば、その時点ではとりあえずは
OKです。

【先に答えを見たい方は】

次の課題のサンプルソースが模範解答になります。コードが読めることもスキル上達の1つのステップですので、模範解答を見る
ことは全然悪いことではありませんが、きちんと1行ごとに理解するようにしましょう。

【補助教材について】

GASコースには補助教材を用意しています。補助教材には、GASの概要やスクリプトエディタの開き方などの基本的な内容に加え、
学習を進めていく中で必要な知識や情報が記載されています。必要に応じて参照ください。
GASコース補助教材 https://github.com/techgymjp/techgym_gas/support_text.pdf

【効率的な復習のやり方】

1章(大課題)ごとに「通し」で5回はやってみましょう。その際に、トライした日付、その課題でトライした時間、解答までにこぎつけた
かどうか(○・×)を毎回記入して、前回との差異を見て、理解が進んでいるか、スピードが上がっているかをチェックします。章の途
中で放置して時間が経っている場合は最初からやり直すことをオススメします。毎回ミスしやすいところは、次回にヒントになること
をメモっておくことも理解を深めます。

【次の章に行くタイミングは？】

全ての課題が答えを見ずにできた方は次の章に進んでみてください。先に進むことで理解することもありますので、とりあえず全
問正解を自力で解ければとりあえずOKとします。最終的にはヒントを見なくても解けるようになるのが理想ですが、そこまで完璧
主義にならなくてもOKです。

【一歩先の学習の楽しみ方】

テックジムのサンプルソースは、コードの1行1行に創意工夫がなされています。また、各工程のコーディングの進め方は一流シェ
フのレシピさながらの、スーパーエンジニアの技法が隠されています。エレガントなソースコードを描くことに楽しみを見出したり、
出題側の引っ掛けとの駆け引きを楽しんでみましょう。